

民主

PRESS MINSHU

2010年 8月 (2)

号外

定価200円(消費税込み)
年間購読料2400円(送料含む)

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
神奈川県第5区総支部版
総支部代表
田中慶秋



衆議院議員
田中けいしゅう

公約を
実行へ。

原宿交差点の渋滞緩和がいよいよ実現

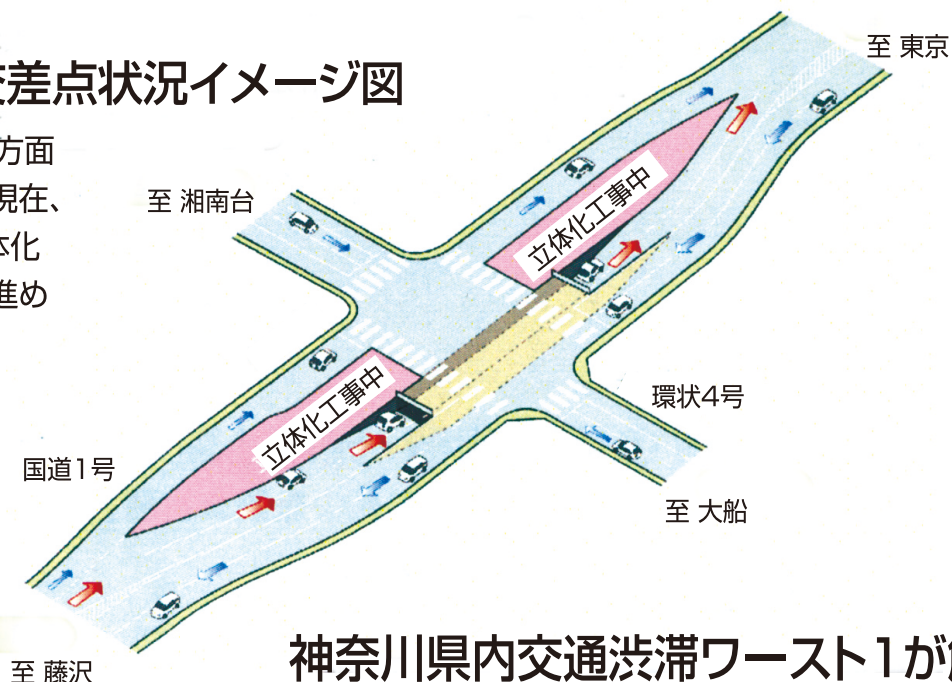
原宿交差点の立体交差部が今年12月に全線開通となります。全線開通により、慢性的な渋滞が解消され、原宿交差点までの下り線(東京から原宿交差点)の通過時間が17分の短縮になり、より便利になります。

原宿交差点の立体交差部が全線開通。(田中議員の念願叶う)

交通渋滞緩和に向けた取り組みを続ける田中けいしゅう議員。2000年の建設委員会(現・国土交通委員会)では当時の建設大臣に「渋滞解消で経済の流れが変わる」と原宿交差点立体化や横浜新道のETC早期導入などを要求。田中議員が「交通渋滞は経済ロス、環境汚染、騒音の元凶だ」と、国会で再三取り挙げたことで工事の早期着工にこぎつけた経緯があります。それから10年が経過。今年の12月末にはいよいよ全線開通の運びとなりました。

現在の原宿交差点状況イメージ図

平成21年4月に東京方面(上り線)が開通し、現在、平成22年の全線立体化完成に向け、工事を進めています。



神奈川県内交通渋滞ワースト1が解消

原宿交差点改良事業（立体交差化）の概要

国道1号原宿交差点は、その前後が横浜新道、新湘南バイパスといった自動車専用道路で整備されており、多様な交通が集中し渋滞しています。この区間は県内渋滞ワースト1であり、渋滞にともなう損失額は年間100億円になります。

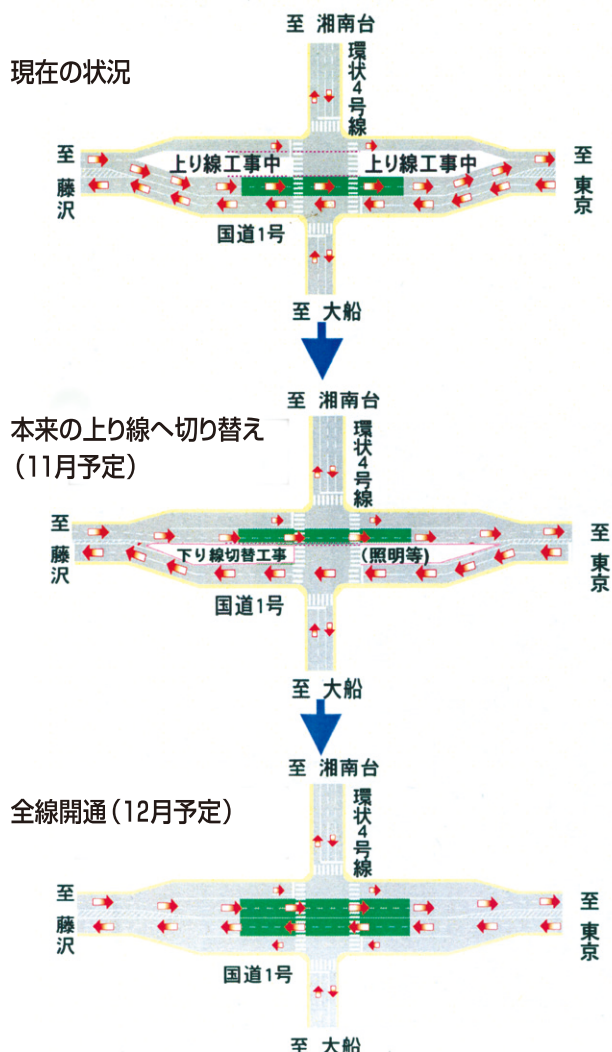
原宿交差点改良は、国道1号線と環状4号線との交差点を立体化（国道1号線を地下へ）し、国道1号の通過交通と環状4号との出入り交通を分離することによって交通混雑を解消し、横浜市の放射・環状方向の円滑な交通を確保することを目的に計画されたものです。

トンネル内が共同溝になります

これからの交差点立体工事については、本線部の鉄筋コンクリート工事が続きますが、アプローチ部（地上からトンネルに緩やかに降りていくところ）は、7月より道路設備工事を移行しています。それ以降は次のような工事が続き、地震・災害に強い共同溝になります。

- トンネル内管理通路工事
- 排水溝工事
- 舗装工事
- 照明工事
- 通信設備工事。

全線開通前の切り替え工事について



現在、上り線として供用しているトンネルは、将来の下り線トンネルになります。

現在工事中の新トンネルが本来の上り線になりますので、完成次第上り線を新トンネルに切り替えます。

その後、上り線トンネルであったところを、下り線トンネルの仕様に変更し（照明、通信設備等の付け替え工事を行う）完成後、下り線トンネルが開通（全線開通）となります。